

Azul 便り

令和 3 年 1 月



ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

昨年は新型コロナウイルス感染症に振り回された年でした。今年もその猛威は続いており明確な終息時期が見えていない現状です。

当施設の入所青少年達もコロナ禍の影響を受けました。仕事の日数が減らされる、就労先がなかなか決まらない、昨年 3 月末から 5 月末までは休校となる、今年に入ってから短縮授業になる、など

施設としては 4 月、5 月の利用料を減額し、全国自立援助ホーム協議会を通して頂いた TikTok 様からの寄付金で青少年個々の携帯電話使用料の補填する、などのサポートを実施しましたが、長引くコロナ禍の中、青少年達は経済面での苦しい状況が続いています。

また、コロナ禍の影響で施設のレクリエーションも変更を余儀なくされました。例年であればスキーやカラオケ、映画等へ行き親睦を図る、誕生日会は外食して皆でお祝いする、などしていましたが、昨年 3 月末からの緊急事態宣言以降はどこにも出かけられない日々が続いています。(Goto トラベル期間中は緊急事態宣言中の休校による夏休み、冬休みの短縮があり尚且つアルバイト先の休みがそろわず何処にも行けず…) 今また、更に新規感染者増の第 3 波により大阪を含む近畿 3 府県に今月 13 日緊急事態宣言が発令されました。このような状況なので令和 2 年度はどこにも出かけられないで終わりそうです。今は施設内でできることをして少しでも楽しんでもらえるように心がけています。例えば、1 年に 1 度のその人のお誕生日を皆で心を込めてお祝いをして、毎日の食事もちよっと豪華にして日々の生活を充実させて少しでもステイホームが楽しくなるように心がける、など

少しお話は変わりますが、こういう特異な状況下で改めて考えさせられることがありました。本当の幸せとはどういうことなのだろうか、ということ。

「福祉」の語源では、福祉の「福」は物理的な幸せ、「祉」は心の幸せ、になります。必要な物を得られること、心が満たされる状態にいること、を目指すものだと解釈しています。

心が満たされる(幸福と感じる)ということについて、数百人の男性を 70 年以上にわたり追跡した大規模な調査研究の結果があります。それによると、最も幸福(かつ最も健康的)だったのは、自分を支えてくれると信頼できる相手と強固な関係を築きあげた人々であったというものでした。

関わってきた青少年達にとって、当施設が自分を支えてくれると信頼できる相手だと感じてもらえるよう、若しくはそういう相手に巡り合えるまでの間、下支えできるよう心掛けていきたいと思ひます。



新型コロナウイルス感染予防対策

「大阪市児童養護施設等における新型コロナウイルスの感染拡大防止を図る事業等補助金」を活用させていただき、入所青少年・職員が感染しないよう消毒液や空気清浄機等の備品を揃えました。又、万が一感染者が出て保健所から施設待機の指示があった場合に備えて施設内で看病できるよう環境を整備しました。



タイムスケジュール

6:30~8:30 出勤、登校

※朝食は各自の出発時間に合わせます



※ときどきですが、お弁当も作ります。

15:30 退勤後帰園し 16:30 に登校(1 名)

17:30~22:00 帰園

20:00 夕食 ※20 時以降の帰園者は順次夕食

17:00~23:00 入浴可能時間

23:00 リビング消灯



職員研修

昨年末からのコロナ禍により外部研修が実施できていませんでしたが、1 月よりオンライン研修に参加し職員の資質向上を図っていきます。※現在受講予定の研修テーマ「親の精神疾患と子供の育ち」



定員・在籍者数・入退所状況

定員 6 名 令和 3 年 1 月 1 日現在在籍者 4 名



クリスマス



入所青少年達のリクエスト&職員自慢の料理で華やかな食卓となりました。ただ、今年もアルバイトで帰宅時間がバラバラになってしまい一堂に会して始めることはできず…。

でも、最終的には皆そろって楽しむことができました。職員個々からの心ばかりのプレゼントも喜んでもらえました。ちなみにプレゼントは、日常生活の中



でふと欲しいと漏らしていたモフモフのぬいぐるみクッションとかわいい動物のぬいぐるみ、靴下、暖か肌着、いつものごとく何かよくわからない変なもの(笑)、食べても食べても底が見えてこないほどの食欲に対応すべくカップ麺!など。同一建物内にある高齢者施設のご家族様からも食べきれないほど沢山のお菓子を頂きました♡



JKA 福祉車両 受配



公益財団法人 JKA (競輪とオートレースの補助事業)様より「2020 年度福祉車両の整備 補助事業」により補助金を受配し車両の整備をしました。

トヨタ シエンタ 乗車定員 7 名

補助金額 1,250,000 円

納車日 12 月 4 日

機能も充実でアウトドアでも活躍してくれそうです。本来であれば、この車で野外活動や社会活動への参加等をするはずだったのですが、新型コロナウイルスの蔓延によりステイホームが続いている今は…。青少年達はこの車で出かけられる日がくるのを楽しみにしています。一日でも早くそんな日が来ることを祈るばかりです。



お正月

大晦日は TV 番組で盛り上がりオールする子も。でも翌日は朝早くからちゃんとアルバイトへ。しんどいけれど楽しい時間となったようです。

初詣は近所の神社へ。ただ、アルバイトで全員そろって行くことができなかったのと、密を避けるため他の参拝者がいない時に行ったので少し寂しい参拝となりました。



帰園して夕食です。毎年元旦はおせちでお祝ひします。



今年が良い年となりますように

